

CloudSecurity ワーキンググループ設立について

2017年8月23日

諸角 昌宏

本書は、CloudSecurity ワーキンググループの設立にあたって、その概要および活動方針を示す。

1. 目的。

クラウドセキュリティに関しては、プロバイダにおける管理策の実装状況とカスタマにおける要求事項にフォーカスされる傾向がある。そこで、クラウドセキュリティの各分野に対して、推奨事項、技術的対策についてフォーカスし、クラウドセキュリティとして、技術的なベースラインを明確にすることで、より安全なクラウド利用に向けてのガイドラインを作成することを目的とする。

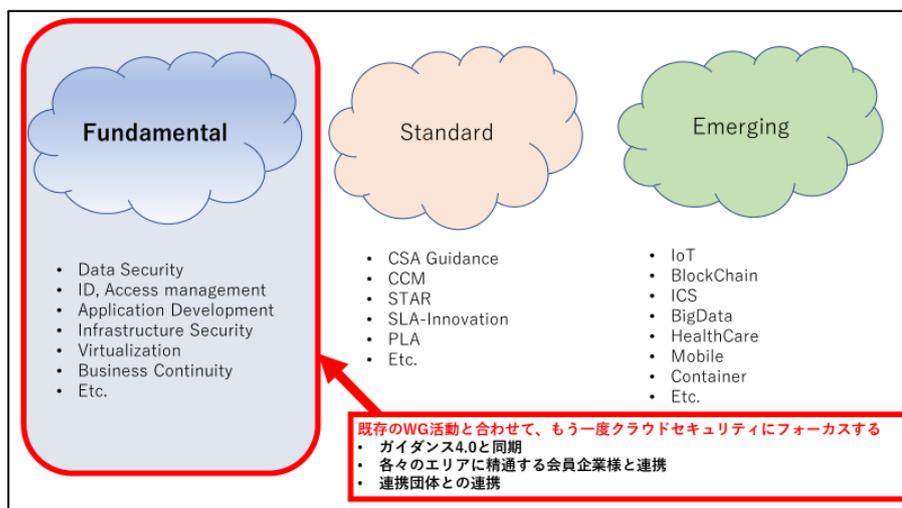
この目的に向けて、以下の調査、研究、ガイドラインの作成を行う

- 推奨事項の明確化
CSA ガイダンス 4.0 を中心としてそのほかの業界標準を取り入れながら整理する。
- 技術的対策の内容
会員企業、連携会員等が提供する技術的対策を中心に整理する。ただし、参加企業のソリューションに偏った内容にならないように参考の扱いとなるようにする。
- 残存リスクおよびセキュリティの考慮点
技術的対策を元に、必要となる管理策等の検討を行う。

なお、ガイドラインは中小企業が扱えるように配慮して作成する。

2. CloudSecurity WG 設立の背景

CSA ジャパン 2017 年度の目標として、もう一度クラウドセキュリティそのものにフォーカスしていくこととしている(以下の図参照)。その取り組みの中心として、本 WG を立ち上げ、活動を進めていく。



3. 対象とするクラウドセキュリティの分野

以下の6分野についてフォーカスする。また、必要に応じて追加の分野を定義する

- データセキュリティ（暗号化を含む）
- ID、アクセス管理
- アプリケーション開発
- インフラセキュリティ
- 仮想化
- ビジネス継続性

4. 活動方針

以下の活動を中心として行う：

- メンバー・リクルート
各分野に精通あるいは製品・ソリューションを持っている会員企業および連携団体からメンバーを募る
- サブグループ
適宜、分野ごとのサブグループを設立して進める。
- 作業概要
 - ① ガイダンス 4.0 の推奨事項の整理
 - ② 外部の情報からの推奨事項の整理
 - ③ 技術的対策の整理
 - ④ 残存リスク、管理策の必要な点の整理
 - ⑤ ガイドラインのまとめ
- スケジュール
各分野ごとに検討し決めていく。

5. 設立時メンバー（敬称略）

- リーダー： 諸角 昌宏
- 事務局： 諸角 昌宏

以上